



【日本気象協会からのお知らせ】

2017年11月28日

## 日本気象協会、花粉の飛散傾向の確認・検討を行う研究会を 今年も全国各地で開催

一般財団法人 日本気象協会（以下「日本気象協会」）は今年も、花粉に関する最新の調査・研究をもとに、花粉の飛散傾向の確認・検討を行う研究会を日本全国各地で開催しています。

### 【関西支社にて】

2017年11月18日（土）には「近畿花粉症研究会」を関西支社で開催しました。



### 【東京本社にて】

2017年11月30日（木）には「第31回 関東甲信越花粉症研究会」を東京本社で開催します。

花粉の元となる植物の育成には、前年夏の気象条件が大きく影響します。このため、日本気象協会の花芽調査では、スギやヒノキなどの植物に詳しい「植物のプロ」の協力のもとで、その土地の気候や地形を知る「気象のプロ」による定点観測を重視しています。

日本気象協会の花粉飛散予測は、前シーズンの花粉飛散結果や今後の気温予測などの気象データをもとに、全国各地の花粉研究会や協力機関からの情報、花芽の現地調査の結果などをふまえて予測しています。

日本気象協会は今後も全国各地の研究会や協力機関と連携し、花粉飛散予測の精度向上に取り組んでいきます。

以上